



洞爺湖町議会議長 篠原 功

新年明けましておめでとございませう。

平成23年の新春を迎え、皆様には御家族お揃いで、清々しいお正月をお迎えになられたものと拝察し、謹んでお喜び申し上げます。

昨年は、世界的に混迷する経済不況下の年にあつて、途上国と言われる国々の台頭が目立ち、国際間での協調が増々希薄となり、国内に於いては外交・防衛・政治にも様々な影響を呈しております。この事が長引く経済情勢の悪化や、格差の増幅を招いていると言つても過言でないと思ひます。国が度重なる景気

浮揚策を打ち立て、様々な経済の底入れを計つてはいるものの、改善に至らず年末を向かえました。

当町に於いては春先の長雨と宮崎県で発生した口蹄疫病予防策で、洞爺湖町産業まつりは中止となり、出鼻をくじかれました。

また、夏の異常気象による猛暑は基幹産業ばかりか、あらゆるところで大打撃を受けており、観光客に至つては大幅な入込客の減少と、業界に取つては過去に類を見ない程の売上げの減額になつたと聞いております。

洞爺湖温泉誕生100年事業

は、町民の皆様様々なご協力に感謝し、一過性に終わらず関係機関の皆様には、ぜひ次世代へ引継いでいってほしいものです。

財政健全化については、昨年度最大の課題でもありましたが、国からの交付金の増額もあり、計画以上の成果が得られる見通しとなつた事は、町民の皆様のご理解のお陰と存じ有難い限りです。

また、議会主催の初の試みとして、予算の説明会と町民との懇談会を開催し、地域に向き、皆様から町政や議会に対する生の声を聞かせて戴きました。貴重な御意見が多数寄せられたのでこれからの町政に活かしたいと考えております。

また今年には洞爺湖町発足5周年を迎えます。合併4年を経過し、合併協議事項のほとんどが完了し、人の交流や物流など予測以上の一体感など、様々な成果を上げることができました。

一方、一部地域での疲弊や過疎化、地域格差や温度差なども耳にします。この機会に経済ばかりでなく、福祉や教育・医療などについても町民が等しく享受のできる町づくりの検証が必

要と思ひます。これから増々不景気が続き、展望の見えないきびしい時代が到来すると思ひますが、活気ある町を取戻すためにも、町財政の緊急出動を行い、メリハリのある予算付けが喫緊の課題と思ひます。是非とも町が元気になる様な従来の概念にとらわれない斬新な政策予算編成を期待します。

本年は議会改選の年でもあり、定数は現在より4減の14名となります。更なる議会改革や効率化・活力ある住民対話など信頼される新議会を目指して、只今つめの協議を重ねているところです。町民の皆様からも御意見を寄せて戴ければ有難い限りです。

私たちの住む洞爺湖町が、更なる発展と希望の持てる夢いっぱいになることになれるよう、議員一同残された期間、心ひとつに英知をしばつて努力して参りたいと思つております。

皆様のご指導も併せてよろしくお願ひいたします。

平成23年が災害もなく平和で実り豊かな飛躍の年となりますよう、御祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとう